

# 第111期 中間株主通信

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

 **芦森工業株式会社**

大阪市西区北堀江3丁目10番18号（〒550-0014）

電話 / (06) 6533-9250

# ASHIMORI

 **芦森工業株式会社**



株主のみなさまにはご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社グループはこのたび平成22年4月1日から平成22年9月30日までの第2四半期決算を行いましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府が打ち出した景気対策の効果もあって、引き続き持ち直してきており、自立的回復へ向けた動きも見られますが、失業率が高水準にあり、また海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動、デフレの影響などもあり、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、販売体制の一層の強化と新商品の開発による新規市場の開拓、事業領域の拡大をはかるとともに、主力製品のコスト削減を中心とした合理化を徹底して推し進めることで業績の向上に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、193億97百万円と、前年同期比24.1%の増収となりました。損益面では、全社をあげた人件費、経費の削減活動に注力した結果、経常利益は1億26百万円（前年同期は4億86百万円の経常損失）となりました。しかし、平成20年10月に発覚いたしました当社製消防用・消火栓用ホース（以下、「当社製ホース」という。）の個別検定受検時における不正問題に関連し、一部の当社製ホースについて引き続き自主回収を行っておりますが、本問題に係る対策費用の見積額として12億円、また、納入製品に対する製品改善対策費として5億円をそれぞれ特別損失に計上した結果、15億50百万円の四半期純損失（前年同期は3億27百万円の四半期純損失）となりました。

今後の経済は、緊急経済対策の効果や海外経済の改善などを背景に景気の持ち直し傾向が続くことが期待されますが、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動、デフレの影響や、雇用情勢に厳しさが残るなど、景気を下押しするリスクが存在しており、なお予断を許さない状況が続くと予想されます。

当社は、平成22年6月に、自動車用シートベルト、エアバッグ等の生産効率化に向け、芦森工業山口株式会社第二期工場を竣工いたしました。今後は、芦森工業山口株式会社を国内主要製造拠点の一つとして位置づけ、激化する企業間競争に打ち勝つために、グループ経営の基盤強化と効率化を推進してまいります。さらに、全社的な原価低減活動の推進によるコストダウン効果の最大化と既存商品の品質向上、また顧客のニーズを的確に捉えた新商品の開発による新規市場の開拓にも引き続き注力し、業績の向上と事業の一層の発展に全力をあげて取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年12月

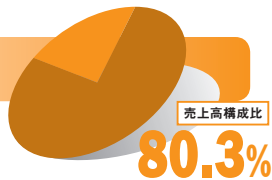
取締役社長 **原 久雄**

## 主要財務データ

	第110期中間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第111期中間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで (当第2四半期連結累計期間)	第110期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
■ 売上高 (百万円)	15,634	19,397	37,489
■ 営業利益 (百万円)	△ 607	90	556
■ 経常利益 (百万円)	△ 486	126	642
■ 四半期(当期)純利益 (百万円)	△ 327	△ 1,550	△ 2,622
■ 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	△ 5.79	△ 27.36	△ 46.26
■ 総資産 (百万円)	30,237	34,134	34,401
■ 純資産 (百万円)	17,737	13,595	15,378
■ 1株当たり純資産額 (円)	312.62	239.54	271.01

(注)△は、営業損失、経常損失、四半期(当期)純損失、1株当たり四半期(当期)純損失を表しております。

### 自動車安全部品事業



シートベルトは、新規受注品が量産開始となるなど売上が増加いたしました。また、エアバッグ、自動車関連用品（内装品その他）につきましても拡販活動を展開したことと市場が回復したことにより売上が大幅に増加いたしました。

この結果、当事業の売上は155億70百万円と、前年同期に比べ32.6%増加いたしました。

### 産業資材事業



「エアロール・システム」をはじめとする物流省力化関連商品は旺盛な需要に支えられ、売上が伸ばしたものの、「タイトナー」は需要の減少による影響を受け、売上が減少しました。一方でロープは、船舶用の新商品受注が好調に推移したことにより売上が伸ばしました。また、広巾織物につきましても、ゴム工業資材用、一般産業機械用ともに需要の拡大により売上が増加いたしました。

この結果、当事業の売上は21億40百万円と、前年同期に比べ8.9%増加いたしました。

### パルテム・ジオ事業



「パルテムHL工法」は下水道分野とガス分野が減少したものの、農業用水分野や上水道分野、プラント分野で好調に推移し、売上が増加いたしました。また「パルテムSZ工法」につきましては、西日本での需要拡大により売上が増加しましたが、「パルテム・フローリング工法」、「緊急排水ホース」は受注が低迷し、売上が減少いたしました。

この結果、当事業の売上は14億11百万円と、前年同期に比べ11.6%減少いたしました。

### 防災事業

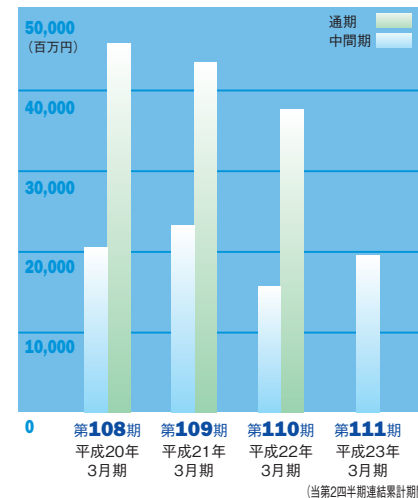


自治体の財政縮小による官公需低迷のなか、トンネルホース、ジャストップをはじめとした防災関連商品は低迷し、売上が減少いたしました。また、消防用・消火栓用ホースは、平成20年10月に発覚いたしました個別検定受検時における不正問題の影響により売上は低迷いたしました。

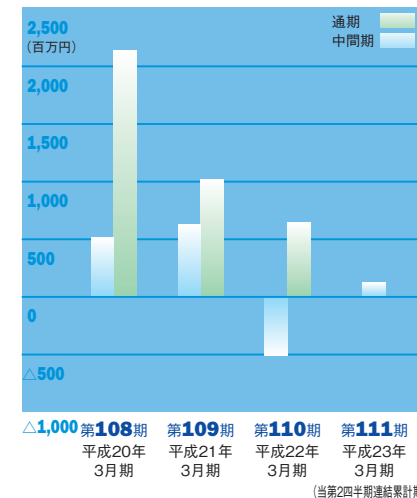
この結果、当事業の売上は2億56百万円と、前年同期に比べ14.6%減少いたしました。

### 業績の推移

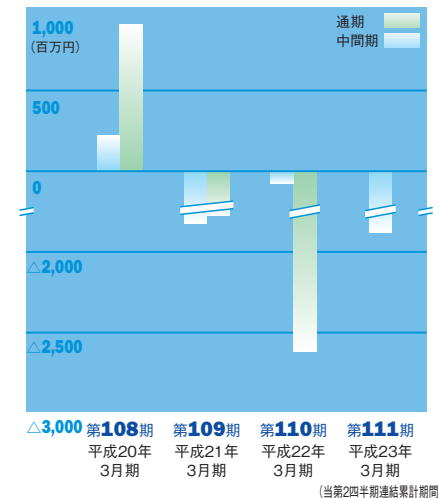
#### ●売上高



#### ●経常利益

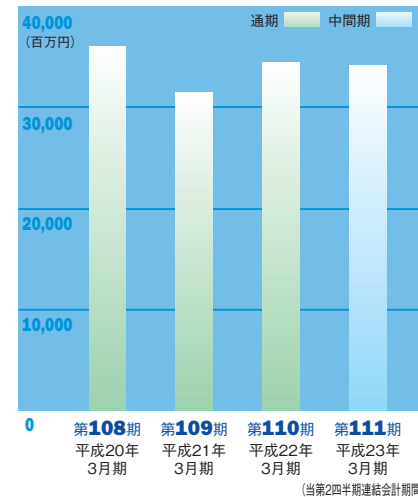


#### ●四半期(中間・当期)純利益

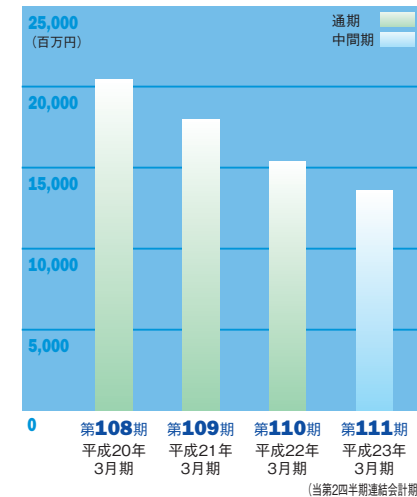


### 財政状態の推移

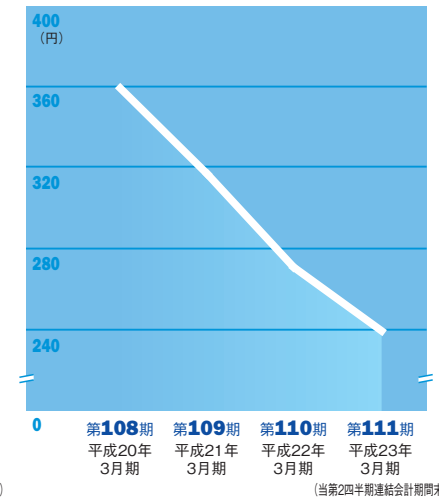
#### ●総資産



#### ●純資産



#### ●1株当たり純資産額



## 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	第111期中間	第110期中間	第110期
	平成22年9月30日現在 (当第2四半期連結会計期間末)	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	20,323	17,765	21,130
現金及び預金	2,601	1,984	2,405
受取手形及び売掛金	10,266	8,580	11,787
たな卸資産	6,107	5,164	5,100
繰延税金資産	775	1,597	1,409
その他	581	449	441
貸倒引当金	△ 9	△ 10	△ 14
<b>固定資産</b>	13,811	12,472	13,271
<b>有形固定資産</b>	9,649	9,719	9,594
建物及び構築物	3,596	3,257	3,107
機械装置及び運搬具	2,097	2,513	2,340
工具器具備品	935	1,021	1,003
土地	2,734	2,746	2,739
リース資産	28	12	32
建設仮勘定	255	167	369
<b>無形固定資産</b>	339	299	332
<b>投資その他の資産</b>	3,823	2,452	3,344
投資有価証券	1,639	1,594	1,810
長期貸付金	19	23	22
繰延税金資産	2,023	672	1,350
その他	197	216	215
貸倒引当金	△ 55	△ 55	△ 54
<b>資産の部合計</b>	34,134	30,237	34,401

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第111期中間	第110期中間	第110期
	平成22年9月30日現在 (当第2四半期連結会計期間末)	平成21年9月30日現在	平成22年3月31日現在
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	17,620	10,787	17,242
支払手形及び買掛金	9,161	7,149	9,688
短期借入金	1,366	—	480
リース債務	21	8	12
未払金	1,877	1,342	1,584
未払法人税等	63	39	160
賞与引当金	335	374	315
役員賞与引当金	16	20	21
防災製品補償損失引当金	3,377	941	4,068
その他	1,400	911	911
<b>固定負債</b>	2,918	1,712	1,780
長期借入金	1,133	—	—
リース債務	68	26	40
退職給付引当金	1,581	1,460	1,518
役員退職慰労引当金	101	184	213
その他	34	41	7
<b>負債の部合計</b>	20,539	12,500	19,023
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	14,237	18,083	15,788
資本金	8,388	8,388	8,388
資本剰余金	7,090	7,431	7,431
利益剰余金	△ 499	3,003	709
自己株式	△ 742	△ 740	△ 741
評価・換算差額等	△ 663	△ 364	△ 430
その他有価証券評価差額金	△ 346	△ 148	△ 158
為替換算調整勘定	△ 316	△ 216	△ 271
<b>少数株主持分</b>	21	18	20
<b>純資産の部合計</b>	13,595	17,737	15,378
<b>負債及び純資産の部合計</b>	34,134	30,237	34,401

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	第111期中間	第110期中間	第110期
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで (当第2四半期連結累計期間)	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年3月31日まで
<b>売上高</b>	19,397	15,634	37,489
売上原価	17,383	14,538	33,313
<b>売上総利益</b>	2,014	1,096	4,175
販売費及び一般管理費	1,923	1,703	3,619
<b>営業利益(△損失)</b>	90	△ 607	556
営業外収益	73	151	252
受取利息	3	1	3
受取配当金	14	9	18
雑収入	56	140	230
営業外費用	37	31	165
支払利息	6	2	5
雑損失	31	28	160
<b>経常利益(△損失)</b>	126	△ 486	642
特別利益	100	—	194
固定資産売却益	100	—	194
特別損失	1,767	26	4,107
固定資産処分損	7	23	42
ゴルフ会員権評価損	4	—	—
会員権評価損	13	—	—
貸倒引当金繰入額	—	3	3
退職給付費用	13	—	—
環境対策費	—	—	14
事業整理損	—	—	47
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—	—
製品改善対策費	500	—	—
防災製品補償損失引当金繰入額	1,200	—	4,000
<b>税金等調整前四半期(当期)純損失(△)</b>	△ 1,540	△ 513	△ 3,269
法人税、住民税及び事業税	47	29	155
法人税等調整額	△ 39	△ 212	△ 803
少数株主利益(△損失)	2	△ 2	0
<b>四半期(当期)純損失(△)</b>	△ 1,550	△ 327	△ 2,622

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	第111期中間	第110期中間	第110期
	平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで (当第2四半期連結累計期間)	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成22年4月1日から 平成22年3月31日まで
<b>税金等調整前四半期(当期)純損失</b>	△ 1,540	△ 513	△ 3,269
減価償却費	812	706	1,511
<b>売上債権の増減額</b>	1,491	868	△ 2,359
たな卸資産の増減額	△ 1,025	430	444
仕入債務の増減額	△ 498	△ 1	2,566
その他	244	△ 1,027	1,925
<b>小計</b>	△ 516	463	818
利息及び配当金の受取額	19	14	25
利息の支払額	△ 6	△ 2	△ 5
法人税等の還付額	29	257	257
法人税等の支払額	△ 167	△ 112	△ 139
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 641	620	957
有形固定資産取得による支出	△ 1,263	△ 544	△ 1,086
その他	△ 38	△ 23	144
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 1,301	△ 567	△ 942
配当金の支払額	—	△ 140	△ 141
その他	2,008	△ 212	261
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	2,008	△ 352	120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 23	52	41
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	41	△ 246	176
現金及び現金同等物の期首残高	2,389	2,212	2,212
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,431	1,965	2,389

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## TOPICS トピックス

### 芦森工業山口株式会社第二期工場竣工

平成20年7月に設立しました芦森工業山口株式会社において、自動車用シートベルト、エアバッグ等の生産効率化に向け、平成22年1月に第二期工場の増設工事に着工し、同年6月に竣工いたしました。

平成20年秋以降の金融危機と世界的な需要の急減により、工場増設を保留しておりましたが、主要取引先の生産回復にともない、着工にいたしました。

今後は、芦森工業山口株式会社を国内の主力製造拠点の一つとして位置づけ、自動車用シートベルト、エアバッグ、内装品等の製造におけるコスト削減、立地リスクの分散などを目指してまいります。



### 芦森工業山口株式会社の概要

- (1) 会社名 芦森工業山口株式会社
- (2) 所在地 山口県山口市佐山3番地96
- (3) 設立 平成20年7月
- (4) 主な事業の内容 自動車用シートベルト・エアバッグ・内装品等の製造・販売
- (5) 資本の額 50百万円
- (6) 出資比率 芦森工業株式会社 100%

### 当社製消防用・消火栓用ホースの個別検定受検時における不正問題について

平成20年10月に発覚いたしました当社製消防用・消火栓用ホース（以下、「当社製ホース」という。）の個別検定受検時における不正問題により、みなさまに多大なるご迷惑をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。当社では、本不正問題に関連し、お客様に当社製ホースを安全にお使いいただくことを目的として、市場に流通している当社製ホースについて、安全確認を実施いたしました。その結果を受け、一部の当社製ホースを不具合または不具合のおそれのあるものとして交換・回収させていただくことを平成22年1月28日付で発表し、現在も引き続き、対象製品の交換・回収について、全社一丸となって取り組んでおります。

当社は、本不正問題につきましても真摯に反省し、今後このような事態を繰り返さないために、社内を設置した「再発防止委員会」を中心として再発防止具体策に取り組んでまいりました。

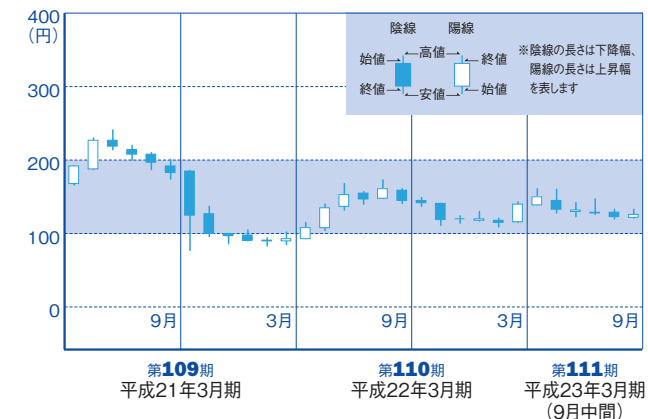
今後も、内部統制システム整備の一環として、コンプライアンス体制の強化を経営の最優先課題に位置づけ、引き続き注力するとともに、品質管理体制の強化につきましても、品質向上に向けた諸施策を速やかに進捗させ、このような取り組みを通して、ステークホルダーのみなさまから再び信頼いただける企業となるよう、努めてまいります。

### 株式に関する事項 （平成22年9月30日現在）

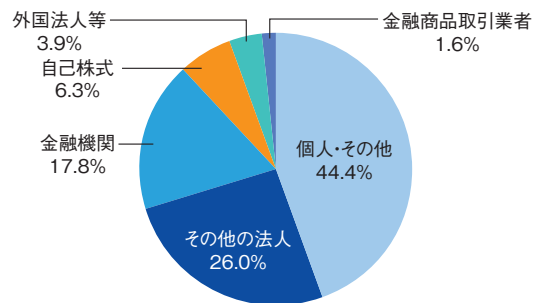
#### 株式の総数

発行可能株式総数	220,000,000株
発行済株式の総数	60,569,390株
株主数	8,555名

### 株価の推移 （東京証券取引所）



### 所有者別株式分布状況 (平成22年9月30日現在)



### 大株主 (平成22年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東洋紡績株式会社	9,201,152	16.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,741,500	3.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,455,000	2.6
シービーエヌ・アイエー・インターナショナルキャピタル・グループ	1,421,000	2.5
芦森工業従業員持株会	1,366,538	2.4
三井住友海上火災保険株式会社	1,168,593	2.1
芦森工業取引先持株会	1,046,000	1.8
日本生命保険相互会社	956,188	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	741,000	1.3
御幸ホールディングス株式会社	600,000	1.1
合 計	19,696,971	34.7

(注) 持株比率は自己株式 (3,790,376株) を控除して計算しております。

### 会社の概要

創設	業 立	明治11年11月7日 昭和10年12月27日
資本金		8,388,681,265円 (平成22年11月30日現在)
発行済株式総数		60,569,390株 (平成22年11月30日現在)
本社		大阪市西区北堀江3丁目10番18号 (〒550-0014) 電話/ (06) 6533-9250
東京支社		東京都中央区日本橋室町4丁目3番16号 柳屋大洋ビル(〒103-0022) 電話/ (03) 3246-7300
大阪工場		大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号 (〒566-0001) 電話/ (06) 6388-1212
篠山工場		兵庫県篠山市西町40番地の2 (〒669-2342) 電話/ (079) 552-1177
福井工場		福井県小浜市多田2号雲月8の5 (〒917-0026) 電話/ (0770) 56-1212
浜松工場		浜松市南区小沢渡町26番地 (〒432-8063) 電話/ (053) 445-1522
連結対象子会社		芦森エンジニアリング(株)、芦森工業山口(株)、ジェット商事(株)、芦森不動産(株)、アシモリセンセイ(株)、芦森科技(無錫)有限公司、Ashimori India Private LTD.、ASHIMORI (Thailand) CO.,LTD.

持分法適用  
関連会社 (株)赤尾

### 役員 (平成22年11月30日現在)

取締役社長	缶	文	雄
常務取締役	高 橋	正	雄
常務取締役	川 内	正	樹
常務取締役	八 木	伊 三	郎
取締役	麓	利	親
常勤監査役	井 上		仁
常勤監査役	堂 園	栄	一
監査役	庄 田		登

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金受領株主 確定日	期末配当金の基準日 3月31日 中間配当金の基準日 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とします。 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社インターネットホームページアドレス <a href="http://www.ashimori.co.jp/">http://www.ashimori.co.jp/</a>
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話無料) 0120-094-777
株式上場市場	東京証券取引所 第1部 大阪証券取引所 第1部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社インターネットホームページ

<http://www.ashimori.co.jp/>

決算情報等、最新の会社情報を当社ホームページに掲載しております。

株主・投資家のみなさまのお役に立てるよう、掲載情報の充実をはかってまいりますので当社ホームページをご活用ください。